

# みなとぴあボランティアレター 第35号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ/2018.3

2017年度冬から春の活動をお伝えします！

## 盛況でした！ 12/9 企画展解説・1/28 ステップアップ研修

12月9日(土)に企画展「ワンダーランド近世新潟町展」の開幕に合わせて展示解説会が開かれました。恒例のボランティアさん向け特別解説会です。毎度次々と質問が出たり、ボランティアさん同士で話が広がったり、愉快的な解説会になります。

1月28日(日)には伊東祐之副館長によるステップアップ研修がありました。年3回、活動に役立つよう学芸員が講師となって行う小講座です。今回のテーマ「北越戊辰戦争」はみなさん関心が強いようで、戦跡を実際にめぐってみようという企画も出てきております。お楽しみに！



## 1/28 新年会

今年は、お肉がウリの洋食店ビストロ椿さんが会場でした。榎谷小路の他門川にかかっていた鏡橋の記念碑が、お店の前に建っているという歴史スポットでもあります。齋藤結花さんに年度はじめにご提案いただいていた会場で、早川飛鳥さんや関根あずみさんにご協力いただいたの開催でした。いつもとは少し趣の異なる新鮮な飲み会になったのではと思います。みなさまありがとうございました。今後もオススメのお店、チャレンジしてみたいお店があれば教えてください！いろいろ一緒に味わってみましょう。





## 2/1 ボランティア交流会 岩室民俗史料館を訪ねて

大雪が続いた1、2月。珍しく晴れ間がのぞいた2月1日（木）に、新潟市の歴史系博物館・資料館のボランティアが集まり、情報交換などを行う交流会が開かれました。

今回は第3回目の開催です。前2回は事務局となっているみなとぴあを会場に開催しましたが、参加されたボランティアの方々のアンケートで、「ぜひそれぞれの館を訪ねてその活動を知りたい」という声が寄せられていました。

そこで、今回は岩室民俗史料館さんのご協力を得て、その活動を見学させていただきに伺いました。岩室民俗史料館は、廃校になった和納保育園を使用して、2015年7月にリニューアルオープンしました。資料の整理や展示作業を行った地域の方々が「運営協力友の会」として指定管理を受け、自分たちで館の運営を行っています。

お伺いしたのは6館から24名（みなとぴあから4名）、岩室民俗史料館では11名のみなさんにお迎えいただき、計35名での交流会となりました。簡単な各館の活動紹介のあと、さっそく岩室民俗史料館さんの活動を実際に見せていただきました。

「茶の間」と呼ばれるお部屋では畳が敷いてあり、糸車による糸つむぎ、特製の木箱を使った簡単な裂き織り体験（コースター作り）、布ゾウリ作り、ジュヅク玉によるお手玉作りなど様々な体験が紹介されました。もと体育館の広場では、機織り機が2台設置されていて、本格的な裂き織り体験ができます。しかもうち1台は新たに手作りされたものだと思います！

日々の活動では、たとえば布ゾウリ作りが人気で、参加者がその楽しさを伝えて参加者が増え、いつも定員以上とのこと。また、ジュヅク玉で作るお手玉の手触りは小豆のものより良いと好評だそうです。ほかにも石臼があるならきなこを作りたいとか、ハギレを使って造花が作れるとか、アイデアの持ち寄りでどんどん活動が広がっているようです。また豊富な展示物についての話題も出て、参加者は興味津々で質問が絶えない様子でした。

充実した活動紹介の時間のあとの情報交換では、岩室民俗史料館のリニューアルなどに対して質問が出ました。とくに経費について、施設の整備を区が行ったほかは、ほぼすべて自分たちで作業をしたそうです。そこから各館ボランティアの普段の交通費などの話になりましたが、やはりどこも自己負担で活動しているということでした。

終了後の参加者アンケートでは、岩室民俗史料館さんの活動を非常に楽しまれた様子が伝わってきました。交流会に参加されなかった方も、ぜひ岩室民俗史料館を訪ねてみていただきたいです。



あちこちで質問が飛び交う



人気の布ゾウリ作り



裂き織りコースター作り



機織り機で本格裂き織り



もと体育館での情報交換会（とても暖か！）



## 新規ボランティア研修

今年も新年度に向け、新規ボランティアの研修が行われています。今回チャレンジして下さったのは8名。種類としては常設ボランティアに人気が集まる結果になりました。ほとんどの方がこのまま登録してくれそうです。来る4月22日（日）の総会で、みなさまにご紹介できることを楽しみにしています。



2/17 の新規ボランティア説明会



3/3 敷地ガイド研修、晴れてよかった！



3/10 は1日常設ガイド研修

\*体験ボランティアの研修写真を撮りそびれてしまいました…

## ユニフォーム活躍してます！

みなさんからの要望が高まり、今年度から導入が実現したガイドユニフォームは、しっかり活躍中です。名札や腕章だけだと目立たず、ボランティアとしてわかりやすいほうがフリーガイドでお客さまに声をかけたりもしやすいといったご意見などが寄せられて、検討が始まりました。色もいくつかの候補から投票で決定し、目につきやすい蛍光グリーンとなりました。少し暗い常設展示室の中でも明るく見えます。掲載している写真では、いかがでしょうか？非常にわかりやすくなったと思います。

なお、希望者は個人購入、またボランティア室に常備のものは共有でお使いいただけます。そして、着用はあくまで自由です！博物館としては、最低限名札をつけてくだされば活動OKです。みなさん各自がご自分の判断で、あるいはその日の気分で、ご活用ください。



新規ボランティア研修でも活用中



## フェスティバル企画 5/6に開催決定！

来年度のボランティアフェスティバルは、ゴールデンウィークの最終日5月6日（日）に開催決定です！そして今回はつつじ祭りさんと共催となりました。

以前から共催を望む声がありましたが、今年年越し時にお願したアンケートの結果投票が集まり、さっそくつつじ祭り実行委員会さんにご連絡しました。とはいえ、お話をさせていただいたのは2月で、みなとぴあ側の方針を決めて具体的な連携案の打ち合わせを行ったのは3月初めでした。つつじ祭りは一年間準備を重ねてきているという中で、急遽連携を受け入れてくださった実行委員会のみなさんには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、肝心の連携の内容ですが、子供たちメインのイベントがある程度落ち着く午後に、子供たちを集めてみなとぴあへ遊びに行くというミニツアーです。行き帰りも楽しんで！ということで、常設クイズラリーの歴史衣装を着た「昔の人々」、さらにイチからよろい作りをしているよろい研究会さんの「武将」に協力してもらい、宣伝も兼ねて民謡流しのように練り歩きたいと考えています。

毎年すぐ近くで開催されている地域のお祭りと、一緒に盛り上げられたらと思います。

つつじ祭りとの連携から、今回ボランティアフェスティバルではコンサートや飲食販売は予定していません。打合せでは、ボランティアのメインである体験・敷地・常設の活動を、「開港」の要素を盛り込みながら、じっくり準備していこうということになりました。ただ、その後に2015年にも実施した「業務艇あさひによる西港めぐり」の提案が出て、年度末のアンケートにより実施が決まりました。「開港」というテーマにもふさわしい企画だと思います。

ボランティアフェスティバルは、より多くのお客さまにみなとぴあを楽しんでいただく機会にしたいというのがみなさんの総意だと思います。また、博物館としては、博物館で生き生きと活動して下さっているみなとぴあボランティアさんたちの紹介の機会とも考えています。ぜひ、自らも楽しみ、それが同時にお客さまも楽しませることにつながる、当館ボランティアの特性が大いに発揮されるといいなと思います。楽しみながらおもてなししましょう！詳細はまた後日ご連絡します。

つつじ祭り連携企画用チラシ（町内観覧用）

### 【編集後記】

35号は、主に2018年年明け後の活動と、新年度のボランティアフェスティバルについても早々にご紹介させていただきました。冬は季節がらガイドなどは減ってしまいましたが、歴史探訪など今後に向けた企画やアイデアがどんどん出てきています。開港150周年に向け、新年度はまた活発な一年となりそうです。（中村）

2017. 5. 28 現在

みなとぴあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、まもなく開港150周年を迎える新潟の街をみんなで盛り上げていこう！という事業です。

「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。

